※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文実践演習B	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	現代文アチーブ３（桐原書店） 速読＆速解チャレンジ１０　論理５・文学５Ｂ（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文学・評論とも高校で学ぶ最高レベルの作品に挑み、高度な読解力や記述力を身につけます。また、レベルの高い問題集に取り組み、実践的な応用力を身につけます。授業内容が理解できたかどうかは、定期テストだけではなく、日頃の発言や提出物、要約ノートの記述などを総合して判断します。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、問題演習を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を付けている。	問題演習を通して、目的や場に応じて的確に読みとったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	問題演習を通して、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	文脈・構成を把握する ［教材］ アチーブ 3 教材 17 ～ 22	a:漢字などについて理解し、知識を付けている。 b[読]:多様な種類の文章に対して、正確で概略的な把握ができるとともに、個々の部分に対して分析的な批評を加えることができる。 c:文章を要約しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ふり返りシート 提出物
	内容を理解する ［教材］ アチーブ 3 教材 23 ～ 26 実践問題	a:漢字などについて理解し、知識を付けている。 b[書]:多様な種類の文章に対して、正確で概略的な把握ができるとともに、個々の部分に対して分析的な批評を加えることができる。 c:文章を要約しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ふり返りシート 提出物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　5　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間